

農業経営改善計画認定申請書

認定申請日を記載

令和4年4月1日

申請する行政庁の欄に○複数の市町村又は複数の都道府県において農業経営を行っている場合は、行政庁が市町村ではないため、お問合せ下さい。

<input type="radio"/>	行橋市長 殿
<input type="radio"/>	福岡県知事 殿
<input type="radio"/>	九州農政局長 殿
<input type="radio"/>	農林水産大臣 殿

申請者	住所	行橋市中央一丁目1番1号	連絡先	090-1234-5678
	フリガナ	ユクハシ タロウ	フリガナ	ユクハシ タロウ
	個人・法人名	行橋 太郎	代表者氏名 (法人のみ)	行橋 太郎
	生年月日・法人設立年月日	昭和47年1月1日	法人番号	999999999

夫婦、親子等が共同で申請する場合は、全員の氏名、フリガナ、青年月日を記載

法人のみ記載

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

経営体毎の農産物販売金額1位の部門（作目）の販売金額が、農産物総販売金額の80%を占める経営体の場合は、該当する箇所1つに☑し、80%に満たない場合は、複合経営に☑してください。

農業経営改善計画	
①農業経営体の営農活動の現状及び目標	
(1) 営農類型	
現 状	5年後を記載 目標（令和9年）
<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類 <input type="checkbox"/> 豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 複合経営	<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類 <input type="checkbox"/> 豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input checked="" type="checkbox"/> 複合経営
<input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ）	<input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ）
<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産（ ）	<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産（ ）

【年間所得欄】

農畜産物の生産及び農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業に係る所得
 ※《別紙》作付品目との整合性を図ってください。

認定基準

目標が390万円程度

【年間労働時間】

農畜産物の生産及び農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業に係る労働時間

認定基準

目標が2,000時間程度

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現状		目標 (令和9年)			現状		目標 (令和9年)	
年間所得	300万円		390万円		年間労働時間	1,700時間		2,000時間	
主たる従事者1人 当たりの年間所得	300万円		390万円		主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	1,700時間		2,000時間	

主たる従事者の人数

1人

②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産

(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業(売上げ)

作目・部門名 (耕種)	現 状		目標 (令和9年)		作目・部門名 (畜産)	現 状		目標 (令和9年)		事業内容	現 状	目 標 (令和9年)
	作付面積(a)	生産量	作付面積(a)	生産量		飼養頭数(頭、羽)	生産量	飼養頭数(頭、羽)	生産量			
										作業委託(水稻)	50万円	75万円
										貸農園	50万円	50万円
											万円	万円
											万円	万円

別紙のとおり

別紙のとおり

主たる従事者とは・・・農業経営に係る経営者及び中心となって経営に係る農業者(ただし、常時雇用者は含まず)を指す。

- 個人：原則的に申請者のみ
- 法人：代表者及び中心となって経営に係る役員

【事業内容欄 記載例】

- 農畜産物の加工
- 小売業(直売所)
- 観光農園、貸農園、体験農園、農家民宿、農家レストラン
- 作業受託(※特定作業受託は含まない)
- その他

【現状及び目標欄】

※売上を記載

別紙参照

【その他】
 「その他」欄には、特定作業受託面積のみを記載
 ※特定作業受託とは
 申請者が作業委託を引き受けることにより収穫物についての販売名義を有し、かつ自ら販売して収入することが出来る形態

農用地の利用条件（ほ場の区画の大きさ、団地化）、作目・部門別合理化の方向その他の生産方式の合理化について、現状、目標及びその達成のための措置を記載
 【記入例以外の例示】
 ○農業生産工程管理（GAP）の導入
 ○栽培・飼養に係る新技術の導入

人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営継承に関する取組等について、現状、目標及びその達成のための措置を記載する。なお、家族経営協定を締結している場合には、その旨と協定に基づく家族間の役割分担等の内容を記載

(3) 農用地及び農業生産施設													
ア農用地						イ農業生産施設							
区分	所在地		地目	現状 (a)	目標 (令和9年) (a)	種別	所在地		規模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現状		目標 (令和9年)		
									棟	m ²	棟	m ²	
所有地	福岡県	行橋市	田	100	100	ビニールハウス	福岡県	行橋市	2	600	4	1,200	
						畜舎	福岡県	行橋市	1	100	1	100	
借入地	福岡県	行橋市	田	1,000	1,500	堆肥舎	福岡県	行橋市	1	100	1	100	
	福岡県	行橋市	畑	100	100								
その他													
経営面積合計				1,200	1,700	経営面積合計				4	800	6	1,400
③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置							
<p>【現状】①圃場が分散している。 ②手作業が多いため、労働時間が多い。 【目標】①連坦化された農地を作付けする。 ②高性能農業機械導入による作業効率化 【達成するための措置】①借入農地の集約化を図る。 ②大型機械導入</p>						<p>【現状】①白色申告を実施している。 ②個人経営 【目標】①青色申告の実施 ②経営の法人化 【達成するための措置】①JA記帳会等を利用する。 ②専門家に相談しながら法人化に向けて準備する。</p>							
⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置							
<p>【現状】①繁忙期の人手が不足している。 ②不定休 【目標】①繁忙期の人手を確保する。 ②休日制度を導入する。 【達成するための措置】 ①福祉施設と連携を図り障がい者を雇用する。</p>						<p>【現状】①直売所への出荷が中心だが、他の生産者と競合している。 ②規模拡大にあたり作業が追いつかないことが予想される。 【目標】①販路の拡大 ②大型田植機を導入する。 【達成するための措置】①単価の良い量販店や学校給食へ出荷する。 ②令和〇年度に資金及びスーパーL資金を活用し、〇〇円を借入する。</p>							

農業経営上重要と考えられる農用地及び農業生産施設を記載

簿記記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化等について、現状、目標及びその達成のための措置を記載
 【記入例以外の例示】
 ○高付加価値化・ブランド化
 ○新たな販路拡大や新製品の創造等

③④⑤以外の取組について、
 ①現状
 ②目標
 ③目標を達成するための方策を記載
 ※農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合には、予定年度、予定資金、予定貸付額等を記載

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営に あつては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄 (法人経 営にあつ ては役 職)	現 状			見 通 し (令和9年)			常時雇 (年間)	実人数	現 状	0 人	見 通 し	0 人
				担 当 業 務	主 た る 従 事 者	年 間 農 業 従 事 時 間	担 当 業 務	主 た る 従 事 者	年 間 農 業 従 事 時 間	臨 時 雇 (年間)	実人数	現 状	2 人	見 通 し	4 人
											延べ人数	現 状	20 人	見 通 し	40 人
行橋 太郎	50	男	(代表者)	全般	○	2,000	全般	○	2,000						
行橋 花子	55	女	妻	出荷準備	○	1,000	補助全般	○	1,000						
行橋 一郎	30	男	長男	出荷準備	○	1,000	補助全般	○	1,200						

延べ人数は
 1人1日あたり8時間で換算

(1) 構成員・役員
 ・現在は農業経営に携わっているが5年以内に離農する見込みの者及び現在は就農していないが5年以内には経営に参画する見込みの者についても記載

(2) 雇用者
 例：2人を1日4時間で20日雇用した場合
 実人数2人
 延べ人数
 $(2人 \times 4時間 \times 20日) \div 8時間 = 20人$

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量

別紙のとおり

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

農業機械

農業機械等の名称	数量	
	現状	目標 (令和9年)
トラクター	1台 (〇馬力)	2台 (〇馬力、〇馬力)
田植機	1台 (〇条)	2台 (〇条、〇条)
コンバイン	1台 (〇条)	1台 (〇条)
乾燥機	1台 (〇石)	1台 (〇石)
糶摺り機	1台 (〇インチ)	1台 (〇インチ)
播種機	1台 (〇条)	1台 (〇条)
ブームスプレーヤ	1台	1台
果樹棚	1式 (〇a)	1式 (〇a)
移動式噴霧器	1台	1台